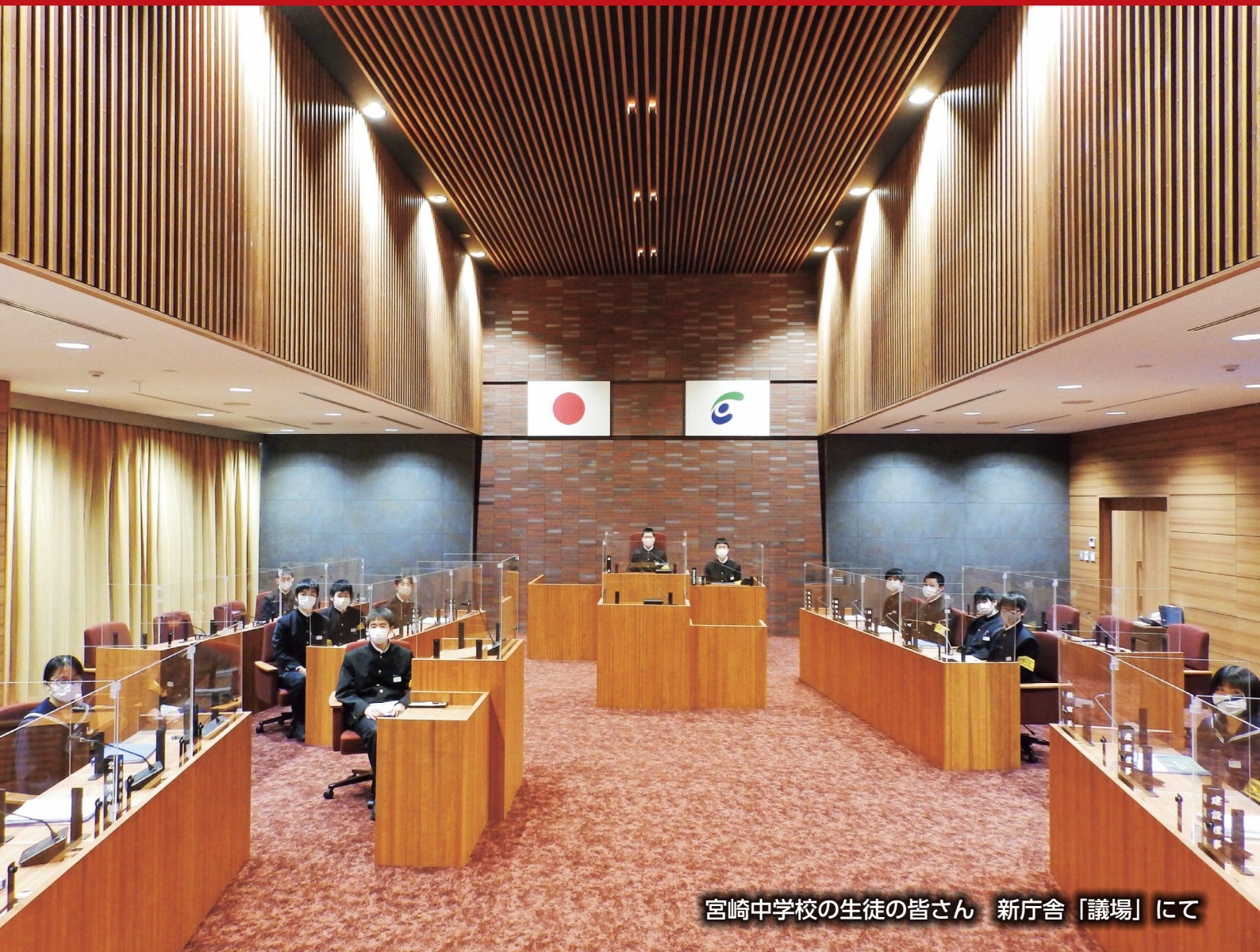




宮崎中学校の生徒の皆さん 新庁舎「議場」にて

えちぜん議会だより

Vol.63 2021.2.1



城崎小学校の生徒の皆さん 新庁舎「全員協議会室」にて

目次

- 臨時会報告・提出議案等 2p
- 12月定例会報告・提出議案等 ... 3p～ 4p
- 一般質問 5p～11p
- 活動報告等 12p～13p
- 出欠状況 14p
- 施設見学会・町内小中学生新庁舎見学 ... 15p
- がんばってます! 16p
- 編集後記 16p



越前町 人と技 海土里 織りなす快適なまち



新庁舎議場にて初めての定例会開催



国・県の「私立保育所運営費負担金」を受け、西徳寺保育園の認定こども園移行や保育士の処遇改善等の加算の追加認定に伴い、運営委託料を追加する。

（委託料） 1,671万円

私立保育所運営事業

費用を計上する。

米ノ地区集会施設が経年劣化で屋上から雨漏れしているため、防水改修工事費用を計上する。

（工事請負費） 646万8千円

財産維持管理事業

補正予算

平成30年度税制改正における個人住民税の基礎控除額等の変更に伴い、国民健康保険税の軽減判定基準の見直しを行う必要があるため、一部を改正する。

条例
越前町国民健康保険税条例の一部改正について

条例

12月定例会

会期 12月8日～11日



大太鼓「明神」

・長胴太鼓 11張
・附締太鼓 1張

ある、5尺の大太鼓「明神」などの太鼓の皮が徐々に破れてきている状況であるため、修繕に要する費用を計上する。

（委託料） 2,475万円
ふるさと納税寄付額の増額が見込まれることから、返礼品等に要する委託料を追加する。

観光施設管理運営事業

①「和太鼓修繕」

（修繕料） 633万8千円

ふるさと納税推進事業

（委託料） 1,590万円

②「指定管理者委託料補填」

（委託料） 1,590万円

国の「地方創生臨時交付金」を受け、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入の大きな減収が見込まれる指定管理施設の安定した管理運営を図るため、指定管理委託料を追加する。

管理公社管理観光施設改修事業

（工事請負費） 1,378万円

越前がにミュージアムのかに水槽用電動弁が、経年劣化により損傷しているため、取り替え工事に要する費用を計上する。
また、越前陶芸村文化交流会館において、洋式化及び温水洗浄便座化の改修を行うため、改修工事費用を計上する。

都市再生整備事業

（委託料） 330万円

丹南都市計画区域（朝日地区）において、道路・公園や商店街活性化の拠点施設などを整備するため、都市再生整備計画策定委託料を計上する。
・現況、課題、目標、区域、整備方針等の検討
・実施事業の抽出、選定
・目標を定量化する指標の検討
・計画書作成

第1回臨時会

会期 11月17日

第2回臨時会

会期 11月30日

町議会議長の就任

新議長に木村議員

青柳良彦議員（前議長）から、議員の辞職願の提出があり、10月31日付で辞職を許可したことを報告した。
新議長には、指名推薦により木村繁議員が就任した。



木村 繁 議長
（就任あいさつは、広報えちぜん12月号に掲載）

専決処分の承認

新型コロナウイルス感染症対策事業

「予防接種費用助成」

・65歳以上の高齢者等

（委託料 他）

1,656万4千円

（扶助費 他）

632万2千円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行が懸念されるため、65歳以上の高齢者や生後6ヵ月から小学2年生までの子ども、妊婦等、より多くの人にインフルエンザ予防接種を受けていただくよう、費用の負担を無料化する経費を計上する。

「まちむら交流・マイクロツーリズムキャンペーン事業（第2弾）」

（需用費 他）

250万円

キャンペーン事業に必要なもの、町特産品等の経費を追加計上する。

コロナ禍によって低迷する県下8町の経済振興を支援すると共に、地元の観光推進を図ることを目的に、県下8町及び県町村会が共同で実施。県民が嶺北2町以上および嶺南2町以上を訪れ、各町にて千円以上を消費した場合、新たに抽選で8町産品を贈呈する。

農地現年発生災害復旧事業

（工事請負費）

200万円

6月14日の豪雨により、畦法面の崩壊被害を受けた農地の復旧を早急に実施する。



畦法面崩壊

契約

越前町役場旧本庁舎解体工事請負契約

◇契約金額…9,614万円

◇契約の相手方…(株)松田工務店

玉川源泉地老朽宿泊施設解体工事請負契約

◇契約金額…7,139万円

◇契約の相手方…(株)大生

小学校タブレット等機器購入事業物品売買契約

◇契約金額…1億1,792万円

◇契約の相手方…福井システムズ(株)

中学校タブレット等機器購入事業物品売買契約

◇契約金額…6,368万3千4百円

◇契約の相手方…福井システムズ(株)

条例

人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与に関する法律の一部改正及び特別職の国家公務員の給与に関する法律の一部改正に伴い、本町の議会議員、常勤の特別職及び一般職の期末手当の支給月数等を0・05月分引き下げる。

<第1回臨時会に提出された議案等>

議案番号	件名	議決の結果
承認第22号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度越前町一般会計補正予算(第9号))	全会一致承認
議案第54号	越前町役場旧本庁舎解体工事請負契約について	全会一致可決
議案第55号	令和2年度 玉川源泉地老朽宿泊施設解体工事請負契約について	//
議案第56号	令和2年度 玉川漁港施設災害復旧工事請負契約の変更について	//
議案第57号	令和2年度 小学校学習者用・指導者用タブレット等機器購入事業物品売買契約について	//
議案第58号	令和2年度 中学校学習者用・指導者用タブレット等機器購入事業物品売買契約について	//

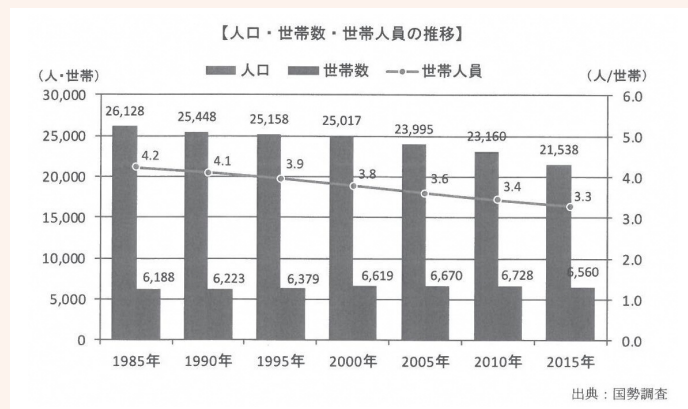
<第2回臨時会に提出された議案等>

議案番号	件名	議決の結果
議案第59号	人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致可決



いっばん質問

佐々木 一郎 議員



人口減少対策の取り組みは？

佐々木

人口減少対策について、どのような取り組みをしてきたのか。

平成17年2月1日に新越前町が誕生。その年の10月1日に国勢調査が実施され、国調の人口は、2万3,995人だった。その5年後の平成22年の国調の人口は、2万3,160人で835人の減、率にして3.5%の減だった。その5年後の平成27年の国調の人口は、2万1,538人で1,622人の減、率にして7%の減だった。

町長

結果、県内で減少率が一番高い池田町に次いで、本町は二番目だった。また令和2年に国調が実施され、国調の人口はまだ発表されていないが、過去の例でいくと減少していると見込まれる。これが合併してからの15年間の結果であるが、この人口減少は主に何が原因だと考えるか。

町長

本町の人口減少は、合併以前の平成2年から続いていることから、人口動態の将来の展望として、令和元年度に「越前町人口ビジョン」を改訂し、その中で人口の現状について分析を行った。転出などの社会動態による減少数は、近年では年に平均150人ほどで推移している。一方、出生数の減少により、自然動態での人口減少は年に200人近くあり、30歳代以下の若年層の転出によって出生数が減少し、人口減少に拍車がかかっていると思われる。

他にも多世代同居、近居住まいの推進や高校生通学助成など、移住・定住の促進に向けた事業展開を心がけ、平成27年度に定住促進課、就労支援室を設置し、移住・定住対策の総合的な取り組みを進めるための体制を整えた。



町長

本町では、令和元年度に「第2期越前町総合戦略」を策定し、令和2年度から6年間における、人口減少等に対する施策を取りまとめた。

①安定した雇用の創出
②定住人口確保、交流人口創出
③結婚・出産・子育ての総合的施策
④安全・安心な生活環境の充実

今後は、この4つの基本目標に基づき、人口減少時代に対応した本町の創生を目指し、町民が住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みんでいきたい。

また、これまでの取り組みを更に充実させていくとともに、観光資源となり得る農業や水産業のブランド力を磨き、関係人口の創出、拡大を図ることや、伝統工芸の担い手育成および情報発信の強化を進め、担い手の地元定着を進めていく。

こんなことを審議しました

定例会報告

町が所有する保育施設等の管理運営を、団体や民間に包括的に代行させるために行う行政処分。

指定管理者の指定



織田勤労者体育館

国調「学校施設環境改善交付金」を受け、織田勤労者体育館の地震時における利用者の安全を図るため、天井耐震工事費用を計上する。

（工事請負費 他） 3,449万6千円

体育施設改修事業

国調「学校施設環境改善交付金」を受け、町内全小中学校の屋内運動場トイレを洋式化・乾式化・バリアフリー化する改修費用を計上する。

（工事請負費 他） 7,878万2千円

小中学校施設環境改善交付金事業

12月定例会において、指定管理者の指定を議決した施設

議案番号	施設名	指定管理者(候補者)名	指定期間	区分
議案第70号	越前町立あさひ保育所、越前町朝日児童センター及び越前町朝日子育て支援センター	社会福祉法人 どころっぶず	5年	継続
議案第71号	泰澄の杜	株式会社 F & E	5年	継続
議案第72号	オタイコ・ヒルズ	株式会社 F & E	5年	継続
議案第73号	悠久ロマンの杜	一般社団法人 入尾・笈松活性化委員会	5年	継続

< 12月定例会に提出された議案等 >

議案番号	件名	議決の結果
議案第60号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	全会一致可決
議案第61号	字の区域の変更について	〃
議案第62号	令和2年度越前町一般会計補正予算（第10号）	〃
議案第63号	令和2年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第64号	令和2年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第65号	令和2年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第66号	令和2年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第67号	令和2年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第68号	令和2年度越前町上水道事業会計補正予算（第5号）	〃
議案第69号	令和2年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第70号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町立あさひ保育所、越前町朝日児童センター及び越前町朝日子育て支援センター）	〃
議案第71号	公の施設の指定管理者の指定について（泰澄の杜）	〃
議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について（オタイコ・ヒルズ）	〃
議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について（悠久ロマンの杜）	〃
議案第74号	和解及び損害賠償額の決定について	〃



高田 浩樹 議員

いっばん 質問

一般質問とは

議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの



田中 太左エ門 議員

定住促進政策に関する取り組み

施策の実施内容は？

田中

定住促進政策は、どのような施策を実施しているのか。

建設理事

都市部では移住促進イベント、町内では、移住・定住推進イベントの開催、またコロナ禍の中、オンライン移住相談などに取り組んでいる。

このほか、町独自の施策として、若者移住チームによる情報発信活動、本町での暮らしが体験できる移住・二地域居住体験施設の整備、県外から移住する方に、町営住宅の貸し出しなどを行っている。

効果は？

田中

実施した施策について、どのような効果があったのか。

建設理事

5年間で、移住・二地域居住体験施設事業では202人利用、多世帯同居近居住まい推進事業では156人の方が定住、住宅地分譲事業では38区画の販売により121人の方が定住、小規模住宅地開発事業では4団地24区画が整備され39人の方が定住するなど、

これらの施策により、5年間で377人の方が移住・定住しており、一定の効果が得られた。

課題は？

田中

今後の課題についてどのように考えているのか。

町長

本町では、移住者の誘致や住宅政策に力を注いでいるが、近隣の市街地への転出に歯止めがからない状況である。このため、若い人などの近隣市街地への転出の抑制を最重要課題として捉え、アンケート調査などを行い現状分析をする。また、民間事業者による宅地開発での積極的な事業展開を進めていく。

コロナ禍によりテレワークが注目を集めているなか、この普及による移住者やサテライトオフィスなどの誘致等を新たな課題と捉え、施策の検討に取り組んでいく。

田中

現状では、人口が減っているのは事実である。やはり、他市町村とは違う独自性がある施策で、「越前町のカラー」をつくり、本町に住んでみたいと思うような移住促進を進めていただきたい。

越前陶芸村活性化施設(旧おにぎり屋)整備の進行状況

整備計画の進行状況は？

田中

2年程前に取得した越前陶芸村活性化施設の整備計画の進行状況について伺う。

産業理事

これまでに飲食の提供とインフォメーション強化による、越前陶芸村全体の活性化を図ることを目的に進めてきたが、利活用案を検討するため、子育て世代の方や建築士との懇話会を計画した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により懇話会が開催できなかったことから、アンケート調査を実施した。結果、陶芸村を子供と利用したことがある人は多く、施設に求めるものは、遊べる場所や飲食のテイクアウト販売、Wi-Fi環境の整備などの意見があり、これらの提案をもとに事業者の公募に向けて進めている。

今後の課題は？

田中

今後の課題について、どのように考えているのか。

産業理事

越前陶芸村の入込数は、平成7年度の約32万人をピークに令和元

年度は約17万人と減少している。課題としては、越前陶芸まつりなどのイベント開催日は多くの方が利用しているが、平日は利用者が少ないことから、通年型で町内外から来ていただけるかがポイントである。

次年度の対策は？

田中

次年度の対策は、どのように考えているのか。

町長

今後も陶芸村全体の活性化を図るため、「越前陶芸村魅力向上賑わいづくり検討会」とも十分協議し、連携を図りながら、陶芸村の玄関口に位置する越前陶芸村活性化施設を陶芸村内にある施設とどのように結びつけて活用していくのか整理したい。そして、経営者の公募と併せて、子育て世代の憩いの場としての施設整備に係る財源確保と予算措置に努めていきたい。

田中

早急に進めて頂き、施設を有効活用して、若者の出会いの場や人口減少問題、定住促進にも繋がるような施設にしていきたい。

「ライフスタイルの変化に対応した生涯学習の取り組み」

本町でのリカレント教育は？

高田

政府の「人生100年時代構想会議」にて、平成30年6月にとりまとめた「人づくり革命基本構想」では、リカレント教育(学び直し)を柱の一つとして位置づけている。そこで、本町でのリカレント教育についての考え方や取り組みを伺う。

教育委員会事務局長

一旦仕事を離れた方、転職および復職を考える方など個人の状況に応じて職業に必要な知識やスキルを習得していく学び直しを支援していくことは重要であると考えている。

本町としては、リカレント教育に関する学びの情報や職業能力の開発に役立つ情報を関係各所と連携しながら提供していきたい。

ニーズの把握、学ぶ場所、人と人をつなげる取り組みは？

高田

生涯学習に関するニーズの把握(学びたい思い、学びたい事柄)、学ぶ場所、人と人をつなげていくための取り組みを伺う。

教育委員会事務局長

ニーズの把握のために、各種講座受講後のアンケート調査、他市町の講座内容や開催方法について

情報交換などを行っている。学ぶ場として、施設・環境の整備の推進、各種団体に対する利用料の免除等を行っている。講座等の開催については、各地区で発行している生涯学習センターだより(町のホームページで閲覧可)でお知らせするなど複数の媒体を用いて情報提供を行っている。課題として、幅広い年齢層に即した学習講座の拡充があり、今後、各種団体の方々から意見を聴いたり、若い世代の方に対して、多様な情報通信を活用した取り組みをしていきたい。

生涯学習の今後の展望は？

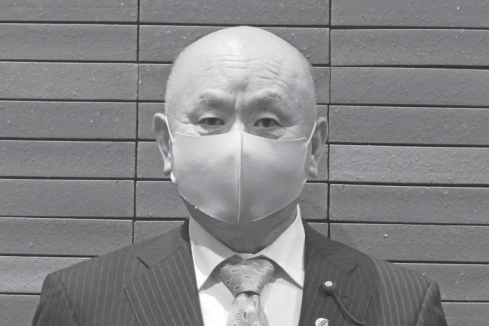
高田

本町で生涯学習を通して、総合振興計画での「人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり」のビジョンを実現していくためには、より具体化、プロセス化していくことが重要だと考えるが、今後の展望を伺う。

教育長

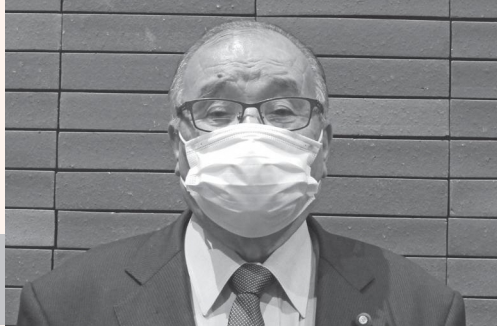
本町では、総合振興計画に掲げられている基本目標の達成に向けて、一つ一つの施策に関する事業の充実、推進に最善を尽くしていく。その成果と課題を常に確認し、次に生かしていくPDCAサイクルで継続的な改善を図り、社会の変化や町民の皆様のニーズの多様化に柔軟に対応していきたい。





米沢 康彦 議員

いっばん 質問



伊部 良美 議員

梅浦川の改修工事促進

伊部

平成10年の台風7号により、梅浦川で過去に例のない想像を絶するほどに川が氾濫したため、県において整備が進められていた。しかし、現在に至っては中断されているように思われるが、地元梅浦区は、町に更なる施設の整備や改良を要望しているが、町の考えは。

建設理事

梅浦川は昭和34年に河川の流域を砂防指定地として指定され、県において砂防堰堤の建設や流路の整備を進めてきた。現在、上流域では、梅浦林道沿いを流れる本流と国道365号沿いを流れる支流に合わせて、10基の砂防堰堤が設置されている。

県では、平成10年の台風7号による大水害を受け、本流においては平成11年に流木や岩塊の下流域への流出を抑制する透過型砂防堰堤、いわゆるスリットダム1基を、平成14年には下流域への土砂流出を調整するスリットダム1基を建設し、支流においても、平成12年にスリットダム1基を建設している。また、集落を形成している下流域では、護岸や河床の復旧工事を進め、流路の再整備を行ってきた。現在も、国道365号梅浦バイパス建設に伴う河川の付け替え工事により、局部的な流路の改良を行っており、河川の一定の整備が進んでいる。

しかし建設後、年数が経過している砂防堰堤のほとんどは、堰堤配備後に堆積した土砂により機能は既に消失している状態で、下流域においては、大雨による河川の増水により道路や民地への越水が生じている区間もある。本町としても、当然この現状を見過ごすことはできず、河川全体における施設整備が必要だと考えている。

伊部

梅浦区と話し合って、施設整備や改良を進めていただきたい。



梅浦川の氾濫

丹生高校写真部に発掘探検隊協力

伊部

丹生高校写真部は、日韓中高生フォトコンテストの大会で入賞するなど、本町の誇りであり、今後ますます精進され、本町の発展に尽力を賜りたい。この大きな芽を大事にすべきであるが、支援についての考えは。

町長

写真部の活躍については、大変うれしく誇らしく思う。支援については、町内の芸術、文化活動に活躍する町内生徒が、全国大会等へ出場する場合などの激励金制度が設けられている。

伊部

写真部に、年間を通して作品作りに取り組んでいたが、新しい越前町を磨く発掘探検隊として、カレンダーやパンフレットなどに広く提供され、旅行者にもPR用として利用すれば、町の魅力の発信力になる。

町長

大変、面白い効果があると思う。今後も、活躍する子ども達に様々な機会を捉え、支援していきたい。

町内貸貸借管理施設に補填を

伊部

新型コロナウイルス感染症の影響により、公の施設の指定管理に関わる事業収入が減収し、減収分を補填することで公の施設の安定した管理を図るが、町内の貸貸借管理施設に対して、補填は考えていないのか。貸貸借管理施設は、町内に何店舗あるのか。

産業理事

商工観光課所管の飲食店等を運営する貸貸借等管理施設は、宮崎地区で2件、越前地区で3件ある。

町長

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食業や観光産業は全国的にダメージが大きく、経済対策として町内飲食店等を支援するため、たすけあい応援商品券やプレミアム商品券を発行してきた。町内貸貸借等管理施設に対する支援については、当初は国の制度がなかったが、売上げの急減に直面する事業者の事業継続を支えるため、地代や家賃の負担を軽減することを目的に、現在は家賃支援給付金制度が設けられているため、給付金の申請の結果により、支援を検討していきたい。

越前漁港の荷さばき所の整備について

早期に荷さばき所の整備を

米沢

名実ともに日本一と言っても過言でない「越前がに」の取引を行っている荷さばき所の現状は、市場エリアが手狭で、魚介類を直接地面に並べるなど、最高級ブランドの水産物を取り扱う上で、決して良好な環境ではない。本町の水産物や観光産業の発展に大きく貢献し得る新たな荷さばき所の整備は急務であり、食品衛生法に則ったハサップ対応の施設整備の早急な実現について、町長の所見を伺う。

平成30年6月議会において、同様な質問をした際、町長は荷さばき所の整備の必要性を認識し、施設整備の事業化に向けた取り組みを検討するとの回答を得ているが、施設整備の事業化に向けた取り組みの進捗状況も併せて伺いたい。

※ハサップとは

製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと



町長

11月のかに漁解禁時には、コロナ感染拡大による影響が懸念されたが、11月の漁獲量は、昨年同月に対し11%減であったが、漁獲金額は16%増の高値で取引され、全国初のGI制度に登録されるなど、越前がにブランド力が広く消費者に認識され、需要が高まった。

平成30年の食品衛生法の改正により、令和3年6月までに水産物卸売業は、ハサップの考え方を取り入れた衛生管理に取り組むものとし、町漁協では、新たな手洗いや、荷さばき所周辺の防鳥ネット、作業場のブルーシートの設置など策を講じているが、現状の施設は、ハサップに十分な対応ができる状態ではない。越前ブランドの付加価値をより高め、産地間競争力を強化するためには、ハサップ対応の荷さばき所の整備は必須と考える。

施設整備の進捗状況について、事業主体になる町漁協では、施設はハサップ対応とし、新荷さばき所の整備する位置を厨地区と設定している。市場の仕様については

県、町及び県漁連との協議を要するため、3年後までに基本計画を策定し、5年後の事業着手を目指しているが、町では早期に着手できるように支援していきたい。

観光機能を併せ持った荷さばき所の整備実現については、町漁協との協議で、荷さばき所の新設に際し、ハサップ対応のほか観光客に対しての競りの見学スペースの設置についても検討されている。当町においても、新荷さばき所と近接の道の駅越前や越前がにミュージアム等の観光施設との連携による効果が期待できると考えている。

今後、町及び町漁協を中心に関係団体と協議会を設置し、荷さばき所を含めた漁港の利用計画の検討を進め、水産業と観光、双方の振興につながるよう協議を重ねていきたい。



米沢



荷さばき所

越前漁港は、名実ともに日本一のスワイガニが水揚げされる港であり、日本一の越前がににふさわしい荷さばき所の新設を町及び町漁協が中心に、県、関係団体がワンチームとなつて、荷さばき所の新設に向け、早期に事を進めていただくよう切に願いたい。

本日は多くの漁業関係者が傍聴し、町長の一言一句の答弁に勇気づけられ、今晚の出港にあたり頑張ろうという思いを強く抱いたことと確信し、新設に向け一歩を踏み出していくことを再度願いたい。



藤野 菊信 議員



笠原 秀樹 議員

学校での「防災教育」の現状について

本町の防災教育の現状は？

笠原

国の国土強靱化計画に基づき、本町も本年度中に計画の策定を目指すし、災害に強いまちづくりに取り組んでいるが、学校においても普段から、災害時にはどのような行動を取ったらよいのか、教えておくことが必要だと思うが、本町の防災教育の現状について伺う。

教育長

近年では毎年のように、各地で大規模な自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われている。こうしたなか防災教育は、子供たちの命を預かり、生きる力を育む学校教育において大変重要で、新学習指導要領でも重視されている。子供たちは、社会科などの授業で、防災について学んでいる。学習内容は、自然災害の仕組みから学校や家庭での日頃からの備え、町や地域への取り組み、避難所での生活、復興に向けての歩みなど、学年に応じて幅広く学んでいる。また、防災の役割として自助、共助、公助のそれぞれについて理解を深めている。特に、いかなる危険に際しても、自らの命を守り抜くよう、自助の意識を高めることを大切に

している。

授業以外では、実践力を身につけるため避難訓練を実施し、また災害を想定した献立の学校給食の日もあり、その給食と避難訓練を組み合わせるなど、計画的に実施している。

更に、本町の防災安全課と協力して、町内小中学校校長を対象に研修会も開催し、教職員の危機対応力の向上を図っている。

PTAや地域住民の連携が必要

笠原

防災教育を学校だけに任せるのではなく、PTAや地域住民の人たちと一緒に防災キャンプを実施し、実際に避難所に泊まつたり、楽しく防災学習ゲームをしたり、地域住民と助け合い、避難所生活を体験することが必要だと思うが、どうなのか。

教育長

防災教育は学校だけで完結できるものではなく、地域住民と連携した防災訓練や防災キャンプなど、家庭や地域との連携を密にし、最大の効果を上げるよう工夫していく必要がある。



段ボール部屋

織田地区では3年前から、コミュニティ運営委員会や地域の方々の協力を得て、合宿通学を防災キャンプとして実施している。織田コミュニティセンターを避難所に設定し、全館停電、断水という想定で行い、夕食はランタンの明かりで非常食を食べ、手洗いや歯磨き、洗顔も非常用の水を大切に使用し、入浴はせず2枚の大きなウエットシートで体を拭いている。また、寝るときは、みんなで段ボールの部屋を作成し、毛布1枚で寝るといふ、非常に本格的な形で実施されている。

実際に避難所での生活を体験することで、子供たちは災害を身近に感じ、防災について改めて考える貴重な機会になっている。今後は各地域に、積極的に働きかけをしていきたい。

学校防災マニュアルは？

笠原

本町の学校防災マニュアルについて伺う。

教育長

防災マニュアルは、従来から学校保健安全法で整備を義務づけられており、どの学校でも危機管理マニュアルとして整備している。学校では、毎年見直しをしており、教職員全体で共通の理解を図っている。また、これとは別に、地域の実情や地理的条件に応じた土砂災害に関する避難確保計画や降水時の避難確保計画などが各学校に備えられている。

笠原

次代を担う子供たちが、安全で安心して学校生活を送るために、今後も計画に基づき訓練を続けて行うようお願いする。



越前町の新型コロナウイルス感染症への対策と今後について

新型コロナウイルス支援策の支出額は？

藤野

今年4月から10月までの本町の新型コロナウイルス感染症への支援策に、幾ら支出したのか、また国からの臨時交付金は幾らあったのか。

町長

生活支援に関しては、マスクの配布をはじめ、子育て世帯や福祉施設従業者などへの応援、高齢者の買物支援、コミュニティバスの運賃や上下水道使用料に係る基本料金の免除を行った。また、特別定額給付金、子育て世帯への臨時特別給付金、高齢者等へのインフルエンザ予防接種の費用助成など、約23億7千万円の支出を見込んでいる。

また、産業に対する支援に関しては、飲食店や旅館・民宿・小売店への応援事業として、日常生活用品の購入やテイクアウトなどの際に利用できる商品券、そしてプレミアム商品券をそれぞれ発行した。また観光連盟に対する宿泊クーポン券事業への助成や中小企業の貸付利息の補填、県の休業要請協力金に対する負担など、約



商品券にて購入

イベントの開催基準は？

藤野

来年度に向けて、町内のイベントや祭りの中止や開催の明確な基準があるのか。

町長

町独自の基準はないが、県の定めた基準に従いイベントを開催する必要がある。本町4大イベントを含めた行事、祭りなどについては、出入口での手指消毒、マスク着用の徹底、開催時間の短縮、飲食スペースの制限を行うなど、安全を確保しながら工夫をこらし国・県、業種別のガイドラインに沿って、しっかりと感染対策を行うことで来年は祭りやイベントが開催できるのではないかと期待をしている。

今後の新型コロナウイルス感染状況や医療体制、ワクチンの開発などの様々な状況によって左右される。先行き不透明なこの時期に、はっきりとしたことは言えませんが、イベントを心待ちにしているお客様、そして関係者の方々のご期待に沿えるよう、開催に向けて最大限の努力と対応をしていく。

予算などへの対策は？

藤野

新型コロナウイルス感染症の影響で、来年度は税収減になると考えられるが、予算などへの対策はあるのか。

町長

町税については、前年度当初予算時と比較して、7%前後の減少を予想している。また町の収入の根幹である地方交付税についても国税である所得税等を原資として配分されていることから、町税同様に相当の減少が見込まれるが、令和3年度に向けた国の概算要求段階では、前年度比2.4%の減少率となっている。歳入については、国・県補助金等の積極的な活用や税徴収率の向上などを図り、財源の確保に努める。コロナ禍というこれまで経験したことのない時代において、持続可能な行政運営を目指して、これまで以上に効率的で適正な財政運営に努めている。



株式会社東京セロレーベル 越前工場 訪問

令和2年10月に越前町佐々生に竣工した、株式会社東京セロレーベル越前工場に訪問し、会社概要の説明を受けた後、工場内を見学させて頂いた。「品質第一のものづくり」を目指されている。



(株)東京セロレーベル 越前工場

昭和23年	東京セロレーベル設立
昭和26年	東京営業所開設
平成5年	鯖江工場竣工
令和2年	越前工場竣工

沿革

設立	昭和23年1月
社員数	140名
本社・本社工場	京都市右京区

会社概要

特長

● **コーティング技術をベース**
コーティング、ラミネート、スリット、抜き加工など、あらゆるニーズに対応可能な加工技術を有しており、製品開発から受託加工まで、幅広い要望に対応している。

● **高い品質と技術力**
お客様の信頼を得るためには、品質こそが第一と考え、日々妥協を許さない製品づくりを行っている。

● **クリーン環境でのコーティング**
様々な要望にお応えできるよう、クリーンレベル1000のコーター機をはじめとした多種多様な加工機を所有している。

● **幅広い製品群**
製品は、光学フィルム、電磁波シールド材をはじめとするエレクトロニクス分野、開封テープに代表される包装材料、その他OA製品、文具、建材など様々な分野で使用されている。

● **環境への取り組み**
環境保全への取り組みとして2008年7月にKES・環境マネジメントシステム・スタンダード ステップ2を認証取得した。



多くの人が触れる箇所へ、簡単に貼り付けられる抗ウィルスフィルムで、最大の特徴は、ウィルスや細菌を短時間で減少させる優れた即効性があること。手すりやドアノブなど、接触頻度の高い箇所への感染対策として開発。

カンセンガード

● **環境宣言**
基本理念
地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力する。
方針
開発、製造、販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境マネジメント活動を推進して、地球環境との調和を目指す。

原子力発電安全対策特別委員会

令和2年11月、関西電力(株)原子力事業本部から地域共生本部副本部長、原子力発電部長、原子力技術部長などを迎え、原子力発電所の安全性向上対策等の実施状況について事務調査を行った。

関西電力の
原子力発電所の概要

全社員約2万名のうち、約2千名が福井県の原子力発電に従事している。そのうち、約4割が福井県の出身者である。

- 美浜発電所・・・3基
- うち美浜1・2号機は、廃炉
- 大飯発電所・・・4基
- うち大飯1・2号機は、廃炉
- 高浜発電所・・・4基

全国の原子力発電所の
再稼働

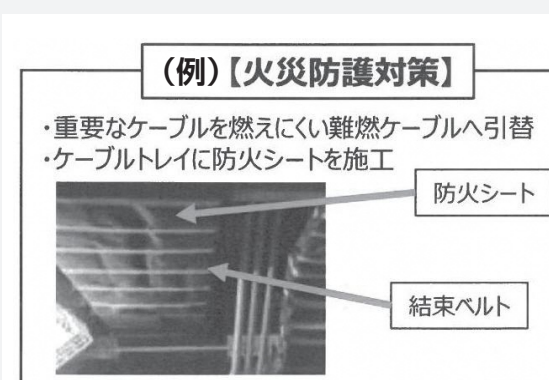
発電所を再稼働するには、左記の3つの新規制基準適合性審査に合格する必要がある。

- ① 原子炉設置変更許可申請の審査
 - ② 工事計画認可申請の審査
 - ③ 保安規定許可申請の審査
- 現在全国で、27基の許認可申請があり、新規制基準適合性審査を受けており、そのうち9基(川内1・2号機、玄海3・4号機、伊方3号機、そして関西電力(株)では、高浜3・4号機、大飯3・4号機)が、再稼働している。また、廃炉は21基ある。

美浜3号機
安全性向上対策

東京電力福島第一原子力発電所の事故の反省や国内外からの指摘を踏まえ、新しい基準(新規制基準)が策定された。さらに関西電力(株)は、自主的に国内外の新知見情報を収集、分析し、改善を図ること、世界最高水準の安全性を目指している。

- 炉内構造物を最新型に取替
- 使用済燃料ピットを補強
- 構台の設置
- 使用済燃料ピットラック取替
- 中央制御盤をデジタル式に取替
- 防潮堤設置
- 火災防護対策
- 緊急時対策所の設置 等



● **事故制圧訓練・体制**
休日を含めた想定した限られた人数により、事故制圧ができることを確認するため、訓練を実施している。

● 休日対応体制 美浜発電所・54名
原子力事業本部・72名

● メーカ、ゼネコンや他原子力事業者等による外部支援体制も構築

● **事故時対応能力の向上**
発電所の緊急時対策要員の対応能力向上を図るため、その役割に応じた訓練を充実・強化している。(令和2年度は9月末現在で約430回訓練)

● 訓練シナリオを事前に通知しない実働訓練

● 全交流電源喪失を想定した訓練

● 原子力事業本部を含めた総合的な防災訓練 等

● **緊急時対応への協力体制**
万一、原子力発電所において緊急事態が発生した場合、種々の協力を積極的に実施する。

● 住民避難にかかる支援協力

● スクリーニングへの支援協力

● 生活支援物資等の支援体制

最後に
原子力の安全確保に終わりはなく、今後も引き続き、安全最優先の取り組みを進めていく。

施設見学会

10月22日・23日、11月14日・15日

役場新庁舎建設工事が完了し、4日間にわたり施設見学会を行い、たくさんの皆様にお越し頂きました。建物の外装と内装には、町産材や町の伝統産業である越前焼のタイルを使用するなど工夫を施しております。



議場



2Fフロア



全員協議会室

町内小中学生新庁舎見学

11月27日、12月2日、17日

町内の小中学生が、総合的な学習の一環として、役場新庁舎を見学しました。未来の越前町の担い手として、活躍を期待しています。



正副議長室



糸生小学校

議会図書館



宮崎中学校

エントランスホール



城崎小学校

傍聴席



常磐小学校

議場



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

(9月19日～12月11日)

○…出席 ×…欠席 ()は理由 △…遅刻・早退

月日	曜日	諸 会 合 名	青柳 議長	米沢 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	笠原 議員	木村 議員	北島 議員	吉村 議員
10	5 月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 水	議会広報特別委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○
	15 木	議会広報特別委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○
	21 水	議会運営委員会	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	—	—
	22 木	丹南地区市町議会議長会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26 月	市町議会議員合同研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○ (病)
11	2 月	議員月例会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 火	議会運営委員会	△	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	—	—
		臨時議会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

月日	曜日	諸 会 合 名	木村 議長	米沢 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	笠原 議員	北島 議員	吉村 議員
11	24 火	原子力発電安全対策特別委員会研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27 金	議会運営委員会	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	—	—
	30 月	臨時議会	○	○	○	○	○	○	×	○ (病)	○	○	○	○
12	7 月	議員月例会	○	○	○	○	○	×	○ (病)	○	△	○	○	○
	8 火	12月定例会 本会議(1日目)	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 水	12月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 木	12月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 金	12月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会広報特別委員会	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○

研修会の様子



丹南地区市町議会議長会議員研修会
10月22日



市町議会議員合同研修会
10月26日



自己紹介をお願いします
僕たちは10年以上前から、越前と織田合同で稽古を行い、大会にも参加しています。部員数は、町内小学3年生から中学2年生までの男女15人です。越前サブコミ体育館では、毎週火・木曜日の午後7時半から9時までと土曜日の午前9時半から11時半まで、また織田勤労者体育館では、毎週水曜日の午後7時半から9時まで稽古をしています。

がんばって ます！

越前少年剣道クラブ 織田剣道スポーツ少年団



活動内容について 教えてください

梅野・水島・米田・矢田部監督指導の下、素振りや基本練習、掛け・互角稽古など、内容の濃い稽古をしています。結果、一昨年は県大会で優勝、また全国大会に出場、昨年は県大会で3位、中学生も個人戦で鯖丹地区優勝、県大会で3位と、輝かしい成績を残しています。剣道は、礼儀作法や集中力、忍耐力を養えるスポーツです。また、個人戦や団体戦を通じて、自己の成長と人と協力して物事を成し遂げるという大切さを学べます。



お問い合わせ
梅野監督
☎ 090-8094-6130

最後に一言お願いします
礼に始まり、礼に終わる剣道。日々、精神を集中させながら、一生懸命稽古に取り組んでいます。目標は、県大会で優勝し全国大会に出場することです。随時、部員を募集しています。一緒に精神を鍛えませんか。気軽に見学に来て下さい。
(インタビュアー 吉村)

新庁舎の傍聴席へどうぞ！ 次の定例会は3月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712



- | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|
| 南 | 齋 | 伊 | 木 | 北 | 高 | 吉 |
| 藤 | 部 | 村 | 島 | 田 | 浩 | 春 |
| ゆ | 良 | 忠 | 幸 | 樹 | | |
| かり | 稔 | 美 | 繁 | | | |

議会広報特別委員会

2年間ありがとうございました



さて、私たち委員での発行は、今回が最後となります。発行にあたり、町民の皆様取材等のご協力を頂き、心より厚くお礼申し上げます。
(吉村)



編集後記

年明け早々強い冬の気圧配置の影響で、県内は嶺北を中心に記録的な大雪に見舞われ、公共交通機関や物流が乱れるなど生活に大きな影響がでました。除雪によるケガや県内でも新型コロナウイルスの感染者が増加し「県感染拡大警報」が発令されるなど、暗いニュースが多いですが、一日も早い収束を願うばかりです。

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

